

たねニュース

平成27年(2015年)1月1日発行(隔月1回1日発行)

- 新年ご挨拶
- 北海道向けサイレージ用トウモロコシ すず紋病対策と品種選定について
- 第66回日本酪農研究会 盛大に開催
- 道央地域より新年のご挨拶 ● 道東地域より新年のご挨拶
- 平成26年度酪総研シンポジウムのご案内

謹賀新年

平成27年の新春を迎え、皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より弊社事業につきまして、特段のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災による甚大な被害は、今なお農業・環境に大きな影響を与えており、真の復興へ全力を尽くしておられる生産者並びに関係者の方々のご尽力に心より敬意を表します。

さて、日本の酪農・畜産業界を取り巻く環境は、7年越しの交渉を経て大筋合意した日豪EPA(経済連携協定)並びに大詰めを迎えるTPP(環太平洋パートナーシップ協定)交渉への対応など、大きな転換期を迎えるなか、今なお高止りしている配合飼料価格への対応など課題が山積しており、国を挙げての再生産可能な農業政策の実行を強く期待したいところです。

海外からの輸入飼料に頼らない国内飼料基盤に立脚した足腰の強い酪農・畜産経営への変革を強く迅速に進めなければならないと改めて思う次第です。

弊社は創業者である黒澤西蔵翁が提唱した「健

土健民」を企業理念とし、地域に適した牧草・飼料作物種子、緑肥作物種子の新品種開発、お客様のニーズに応える製商品・生産技術の開発など循環型農業を推進して参りました。平成25年11月に設立した農業生産法人「(株)TACSしべちゃ* (北海道標茶町)」は、自給飼料基盤に立脚した低コスト酪農の経営実践を目指すとともに、草地管理技術の更なる向上を図り、日本の酪農・畜産の発展と持続型社会の構築へ向けた役割を果たしていきたいと考えております。

本年も長年に亘って培ってきた技術やノウハウを活かし、雪印メグミルクグループの一員として、酪農・畜産の生産現場にしっかりと目を向けた数多くの商品と技術を取り揃え、皆様のご用命をお待ちしております。

今後とも、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

*：(株)TACSしべちゃ：標茶町農業協同組合、雪印種苗(株)、標茶町の3者による農業生産法人

平成27年 元旦

雪印種苗株式会社
代表取締役社長 川成 眞美